

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



まだまだ夏は
終わらない…

大宜味小・中学校プール完成！！ 大宜味小学校プール開き

校舎に遅れて1年余り、8月に大宜味小・中学校のプールがついに完成し、9月19日（火）にプール新築工事の竣工祭が行われ、新しいプールの安全祈願をしました。

そして20日（水）、大宜味小学校のプール開きが行われました。

新しいプールを前に嬉しさを隠しきれない子ども達は準備体操とシャワーを終えると、次々にプールに入り、泳いだり、潜ったり、浮かんだり思い思いに新しいプールを満喫し、楽しい時間を過ごしました。



シークワサーの日制定を記念して、シークワサーづくし給食

しまくとぅばでミカン類を「九年母（クニブ）」と呼ぶことから語呂合わせで9月22日に制定されたシークワサーの日を記念し、大宜味村シークワサー産地振興協議会より給食センターにシークワサー7キロが提供され、9月21日（木）大宜味幼稚園、小学校、中学校の給食にシークワサーを使ったメニューが出されました。

この日のメニューは麦ごはん、アーサ汁、さんまの塩焼き（青切りシークワサー添え）、おからイリチー、シークワサーゼリー。給食センター栄養士の松田香織さんから「シークワサーはさんまにかけたり、シークワサーゼリーにかけたりして食べてみて。」とアドバイスをを受け、次々にシークワサーを絞り、さんまやゼリーをおいしく食べて、大宜味村の特産物、やんばるの秋の味覚に舌鼓を打ちました。



中学生が大宜味村を元気にする！ 大宜味中学校1年生商品開発

9月27日（水）、大宜味中学校1年生の総合の時間に、大宜味中学校商品開発授業が行われました。

商品開発授業は6月7日から始まっており、今回で4回目の授業となり、大宜味村の特産物であるシークワサーを利用し、企業と連携して、大宜味村の新たな特産品となる飲料用のシークワサー酢を作り、販売することを目的としています。

これまでの授業で商品の味とデザインを絞ってきた生徒たち。

今回の授業では「決める」ことをテーマに味とデザインの最終確認を行うことを目的としました。

家族や周りの方々にとったアンケート結果も考慮し、新たな試作品と飲み比べ味の最終確認を行いました。2つの試作品を飲み、どちらがいいか班ごとに意見を発表。意見は片方に傾きましたが、2つを混ぜた方がいいという意見もあり、味の決定についてはほとんどん追求していくことになり、新たに試作品を作成し、再度確認することに決まりました。

また、これまでの授業で2案に絞ったパッケージデザインをどちらか1つに決定する作業では1度多数決で決まったデザインに反論があり、その意見を元に再び投票を行ったところ、デザイン案が覆り、自分の意見を貫く姿勢が見られ、回を通して毎に生徒たちが成長していく様が見られました。

デザインは、生徒たちの意見でもう1つのデザインのいいところも取り込みながら、さらにブラッシュアップされていきました。

10月初めには新たな試作品の試飲、デザイン案を含めたアンケートを再び取り、最終決定に向け動きます。中学生の活動にご協力お願いします。



第24回コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞受賞 大宜味小自然観察クラブ



8月18日～20日に北海道栗山町にある雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスで行われたコカ・コーラ環境フォーラム2017に大宜味小学校自然観察クラブの6年生真栄田楓夏さん、5年生の玉城美愛音さん、宮城はちさんが参加し、屋古のチョウについてプレゼンテーションを行い、第24回コカ・コーラ環境教育賞活動表彰部門において優秀賞を受賞しました。

惜しくも最優秀賞は逃してしまいましたが、大勢の人の前での発表や水生生物の観察、同様の活動をしている小学生から大学生との交流などたくさんの体験をすることができました。

受賞を祝いに9月19日（火）、沖縄コカ・コーラボトリング（株）の高橋俊夫取締役会長らが大宜味小学校を訪れ、優秀賞盾を贈呈しました。

高橋会長は「発表の際は質問にもしっかり答えていた。他の学校の子も達も刺激を受けたと思う。地域の方々と一緒に自然環境の保全に取り組んでいることを誇りに思っている。土地、水、火、空気、風は自然からのプレゼント。これらがないと虫も植物も生きていけない。これからも環境を破壊させない活動に取り組んでほしい。」とエールを送りました。

楓夏さんは「始めは不安だったけど、本番では大きな声でゆっくり丁寧に話せてよかった。北海道の川の水は冷たくて気持ち良かった。いい思い出ができて良かった。」と話しました。

これまで喜如嘉小や塩屋小で長年行われていた野鳥観察、チョウ観察は新しい学校にもしっかりと引き継がれています。子ども達のこれからの活動に期待し応援し続けてください。

ゆんたくで知るシマのこと… ぶながやの里生涯学習講座ちかーていんましまふとぅば③

9月19日（火）、旧大宜味小学校つどい室において、ぶながやの里生涯学習講座「ちかーていんましまふとぅば③」が行われました。

まずは、教育長が作ったしまふとぅばの昔話を読み解きました。大宜味では「は行」を「ぱ行」で表すことが多いですが、文字で表すと、「ぱ行」を「は行」に変えないと読み解くのに難しいことがわかりました。

続いて、この日のテーマである「お盆」について、参加者でそれぞれのやり方を話しました。区によって1日でお盆を終わらせるところ、3日かけてお盆を過ごすところがあり、お迎えのし方や送り方、お供えもそれぞれの違いが見られました。

話に花が咲き、時間になってもなかなか終わることができない楽しい会となりました。



大宜味小学校・中学校 第2回大運動会

今年も魅せてくれた組体操!!



楽しく軽やかなリズムダンス♪



息の合った3、4年生



接戦!さすが中学生という走りを見せてくれました。



9月17日（日）、大宜味小中学校において大宜味小学校・中学校第2回大運動会が行われました。

今年初めて参加する小学1年生からこれが最後となる中学3年生まで総勢206名の児童生徒一人一人が走りに踊りにこれまでの練習の成果を発揮してくれました。

中でも中学校男子の組体操は圧巻で男子全員で作る6段のピラミッドが完成した時は大きな歓声が上がりました。

また、小学5、6年生と中学生で挑んだエイサーでは新たな踊りにも挑戦し、太鼓の音もこれまで以上に揃い見事な演舞を見せてくれました。



大きな波を起こしました!



とにかく可愛い1、2年生



家族、先生も頑張りました!!



太陽に負けない大中魂! 無限の力と深い絆で心をつなげ!!

太陽より輝け、140の笑顔! ころひとつにきらめけ いぎみっこ!!



深読み大宜味村史 8 上原 1967年8月17日 3時15分
通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料から順次紹介している。上原での聞き取り調査のメモである。表記、仮名遣いは原文のまま。判読不可能な文字は□で表した。

出席者 友寄景一、照屋林章、根路銘安直、根路銘安幸、区長照屋林克、眞謝保善

部落発祥 友寄、照屋が最初と思う

那覇より古宇利を経て上原へ。めかけが渡野喜屋目小との間から初まる 18年前 地名上里
東風平…村学校の先生 その後屋嘉部という人、瑞慶山、根ロメ、普天間
尚穆王時代 乾隆28年初午9月17日生
瑞慶山一泊 我ナハ一那覇 桑江一首里 景平一景共一景広一景盛一景志一景一
(めかけ) 妻 渡野喜屋目小

根路銘一東恩納 知念一具志頭村一大宜見 田島朝一恩納熱田 又吉

土地配分 明治30年～32年まで 松の下で踊を習って居った

田 配当なし、とう畑 配当なし メイシン畑 (公配地) 原野の配分はあった、当畑としては屋敷の程度 明
き換え畑 根ロメから来た嫁一人だけ55坪ある

押川 木を切り通してあいを造って居った。そのあいを170斤位も捲いて上原へ製造した
中山分け一棚原に集団的にやった 字共有地にして残して現在はみかんが実り財源になって居る

行政区 塩屋上、安根は塩屋であった。昭3, 7, 20行政区に合併

大山、村田校長 昭16年学区域変更

歴代区長 初代照屋林幸 (細工屋)、2代照屋林賢 (前ヌ照屋)、3代友寄景一 (終戦まで)

戦后 瑞慶山良幸、根ロメ安盛、照屋林章 (2期)、友寄景一、眞謝保一、根ロメ安直、友寄慶徳、根ロメ安直、
照屋林克 終戦後の人口 82戸 625人

青年会 夜学校も根ロメに通って行った 大正6、7年頃補習学校

大工初め 根ロメ安喜、照屋林 本部今帰仁 頭領として

村の大工会 年1回 大正末期より昭和初期まで盛会であった 大兼久事務所で行はれた

移民 メキシコ 眞謝保幸 (明治40年頃前) / ブラジル 友寄景明 (昭和元年から2年頃)

紡績女工 大正元年頃 大分、山口 景三カミー、モーサー

道路 昭和7、8年頃 照屋林賢区長時代 昭和11年頃延長 塩屋上の拡張1958年頃

水道 井戸50尺 大正9、10年頃根ロメ成人会の応援を得て スルガー縄で10日、ワラ縄で3日間しか持た
なかった

ポンプ 昭和12年 終戦前まで使用 □の部品が買えない 各戸タンク天水貯蔵して使用する
ダイナーポンプ 1957年7月沖縄で初めて設置 資材代政府補助 2ヶ年補修なし 8ヶ年
65年ヤンマーポンプ吸上げ \$2,525弁ム官資金
キンナーより 1967年自然流下式キンナーより水源地 延130人
(1月10日) 現金520\$, 資材代\$1,000

農事実行組合 共同作業 朝起作業 青年畑 個人畑を小作したりした

共同店 昭和3年～6年頃まで 戦后個人店 1956、57年共同店青年団

1957年 根ロメ農協合併する

砂糖 水車 安根、マーランガー、上原、根ロメの4ツあった 大正7、8年頃 1丁最高62円

原料 パナマ帽 アダン製造 鯉漁業に出資 女も削り労務

兵役 日ろ戦争 友寄景志、桑江朝保 (2代目)

戦争避難 柵原山、アカジキ、湧地

銀盃 大1個 御大典記念 軍人一家より6人以上の家庭 沖縄では2戸、1戸は久米島へ

歴代議員 初代 照屋林幸、大正末期昭和 瑞慶山良幸、林政委員 友寄景一、照屋林章、友寄景一
眞謝保一、根ロメ安幸 (現議員)



村史編さんだより

第78号 2017年10月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

～寄贈ありがとうございました～

根路銘出身の具志様より、祖母 (ビーダムト・高江洲ウト)、曾祖母 (アシビダムト・濱元ナベ) が使っていたという神衣装、昔の写真、軍隊入営の際のしおり、仲門一門の墓造りに関する覚書など、多くの貴重な品々を寄贈していただきました。

『根路銘誌』によると、根路銘では根神、ビーダムト、タチダムト (アシビダムト) 合わせて8人を大神 (ウフガミ) またはヤジクと言い、字の祭祀に参加をしていたそうです。

寄贈していただいた品々は、どれも保管状態がとても良く、代々大切にしてきた様子が感じられました。今後の村史編さん及び研究に活用させていただきます。ありがとうございました。



①

寄贈された資料の紹介

- ① 神衣装、鉢巻など数点
- ② 家族写真、神行事の写真
- ③ 昭和十六年度 入営壮丁及父兄二対スル希望 西部第六十九部隊 (家庭備付)
- ④ 大正八年十月廿一日 墓造りに於ける覚書 仲門一門



④

③

②

✽ 9月に行われた豊年祭 ✽

9日 饒波区 10日 根路銘・上原区、塩屋区
30日 津波区

豊年祭とは、むらの神々に五穀豊穰を感謝し、豊年を祈願する行事です。また、娯楽の少ない時代には、むらの人々にとって、何よりも楽しみなイベントのひとつとして発展してきました。字ごとに独特の演目があり、10月14日 (土) に行われる謝名城区の豊年祭では、大正時代から継承されている「七福神」「平和」などが上演されます。



▲高平良万才 (饒波)



▲加那よ一天川 (饒波)



▲五福の舞 (根路銘・上原)



▲前の浜 (根路銘・上原)



▲花持踊り (塩屋)



▲総踊り (塩屋)



「しまふとうば」ぬくとう 21



うみがーみー

シバサシぬくとう

「月ぬ走いや馬ぬ走い」・・・時の流れが本当に速いように感じられる。暑い夏の行事であるウンガミヤ地域の豊年祭もほぼ終え、旧暦の8月になった。旧暦8月8日のトーハキ（米寿祝い）も終え、10日からシバサシの行事が始まった。旧暦の8月はマジムン（魔物・妖怪）出没しやすい月だと言われている。シバサシの行事は、その方法に少しの違いはあれ多くの地域で現在でも行われていると思う。

8月10日（地域によっては11日？）にジジキ（ススキ）の葉を結んでサンを作り屋敷の四隅や玄関、水回り等に差す・立てる（差すことからシバサシと言われている？）。ジジキで作ったサンは魔よけに力があるという。そしてもう一つユマンガイ（夕暮れ）から夜になる時間帯に門の前でパッチャック（爆竹）を3回鳴らす。更に現在は行われていないが以前は子供たちが集まって空き缶などを棒でたたきながら集団で「ブナガヤホイホイ」等と叫びながら道道を歩きマジムンを追っ払っていた。屋敷中にサンを差して魔よけとし、パッチャックを鳴らして近くにいる魔物をびっくりさせて追い払い、そして空き缶等を鳴らして集落内から追い払うという二重三重の行動は、目に見えない魔物に対してかなりの恐れを感じていたのだと思う。

今は大宜味村の四つのキーワードにもなり、皆から親しまれているブナガヤは近い昔まで皆で追っ払う存在だったのである。このような変化にブナガヤはトゥーヌーマールー（途惑っている）しているのかも知れない。このような変化をブナガヤに伝えたくて「ブナガヤふ（ブナガヤ来てくれ）」という唄も作って喜如嘉保育所の子どもたちが踊りもしているのだが、ブナガヤは姿を見せてくれない。・・・シバサシの時期になるとジジキを結んだサンを家の周りに差しているのだから当たり前のことか？



今月の生きもの



ヤシガニ：オカヤドカリ科

こんばんは、遅くにすみません。私、ヤシガニと申します。陸上に住んでいる甲殻類の中では最大で大きなものは4kgくらいあります。小さいころはヤドカリみたいに殻を背負っているけれど、大きくなったら殻なしで過ごします。私のハサミはとても強くて体重の90倍近い力があることがわかりました。最大のヤシガニで計算するとライオンの噛む力に匹敵するほどです。外敵から身を守る他、ヤシの実や木の髄などの堅い物を食べる時にもこのハサミが役に立ってるんです。

10月の行事予定

- | | | |
|--------------------------------|--------------------------|--|
| 1日（日）村体協陸上競技大会 | 8日（日）大宜味幼稚園運動会 | 10月15日

キノコの日 |
| 2日（月）区長会 | 9日（月）体育の日 | |
| 5日（木）生涯学習講座 | 10日（火）幼稚園振替休日 | |
| 6日（金）幼小中一斉授業参観日
大小：校内童話お話大会 | 12日（木）生涯学習講座 | |
| 7日（土）国頭地区中学校陸上競技大会
わんぱく体験団 | 21日（土）辺土名地区ミニバスケットボール交歓会 | |
| | 22日（日）国頭郡陸上競技大会 | |
| | 28日（土）国頭地区中学校駅伝競走大会 | |
| | 29日（日）村老人・婦人合同スポーツ大会 | |

暑すぎた今年の夏（ってまだ夏が続いているみたいですが）家の庭にあるバンシルー（グアバ）が枝が垂れるほど実をつけました。普段何気なしに見ている植物も気象の変化しているんだな。生きているんだなって改めて思いました。